

令和元年度 福祉ビジョン21世紀セミナー

テーマ

令和時代を迎え、これからの社会福祉を展望する
～少子超高齢・人口減少社会における福祉課題と地域共生社会の実現に向けた対応～

現在、「2025年問題」や「2040年問題」等への対応を含め、少子超高齢・人口減少社会に向けた社会保障・社会福祉の見直しが求められています。

令和という新たな時代を迎え、国においては、地域に暮らすすべての人びとがそれぞれに役割をもちながらともに支えあい、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会」の実現に向けた取り組みが進められています。

地域共生社会の考え方は、福祉関係者が長きにわたり取り組んできた「福祉のまちづくり」をさらに発展させるものであり、その実現のためには社会福祉協議会、民生委員・児童委員、社会福祉法人・福祉施設などがこれまで培ってきたその力を一層発揮し、中心的な役割を果たしていくことが期待されています。

本セミナーでは、第1日においては、2040年を見すえたこれからの社会保障制度を展望するとともに、地域のなかで「8050問題」など困りごとを抱える「当事者」を孤立させないためにどのように向き合っていくことができるのか考えます。

また、第2日は「地域社会から社会的孤立を防ぐために」をテーマに、地域生活を支える多様な実践から、今後求められる支援のありようについて考えます。

1 主 催

社会福祉法人 全国社会福祉協議会

2 後 援

厚生労働省（予定）

3 日 程

令和元 年 11 月 25 日(月)～11 月 26 日(火)

4 会 場

全社協・灘尾ホール

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル LB 階

5 対 象

- ① 社会福祉法人・社会福祉施設等の役員・幹部職員
- ② 都道府県・指定都市・市区町村社会福祉協議会役員・幹部職員
- ③ 社会福祉関係団体、民生委員・児童委員、学識経験者
- ④ 都道府県・指定都市・市区町村行政幹部職員

6 定 員

200 名

7 参 加 費

15,000 円（1 名につき）

8 参加申込受付
・締め切り

令和元年 11 月 11 日（月） 必着

		12:00	13:00	13:10	14:10	14:25	15:55	16:10	17:40
11月25日 (月)		受 付	開会 挨拶	基調講演 (60分)	休 憩	講演① (90分)	休 憩	講演② (90分)	
11月26日 (火)	講演③ (60分)	実践報告 (120分)							
	9:00	10:00	12:00 (閉会)						

第 1 日 目 11月25日（月）

13:00～13:10 開会挨拶 全国社会福祉協議会 副会長 古都 賢一

13:10 基調講演『2040 年を見すえたこれからの社会保障制度』
全国社会福祉協議会 会長 清家 篤

14:10 団塊の世代が 75 歳以上の後期高齢者となる「2025 年」は目前となり、
(60分) 「2040 年」に向けて更なる高齢者人口の増加、生産年齢人口の減少、年少人口の減少が進むとされています。

持続可能な社会保障制度の構築が課題であり、とくに人口減少が「地域社会、経済、労働、福祉」に大きく影響を及ぼすなかで、拡大する福祉ニーズにいかに対応していくのか、わが国の社会保障制度の展望について講演します。

14:10～14:25 (15分) 休憩

14:25 講演①『「困りごと」を抱える当事者に社会はどう向き合っていくか』
東京大学先端科学技術研究センター 准教授 熊谷 晋一郎 氏

15:55 障害や病気などに限らず広く「困りごとを抱える人」を当事者とみなし、
(90分) 困りごとの解釈や対処法について医者や支援者に任せきりにするのではなく、困りごとを研究対象としてとらえなおし、似た経験を持つ仲間と助け合っ
て、困りごとの意味やメカニズム、対処法を探り当てる取り組みである「当事者研究」への理解を通じて、「困りごとを抱える人」に社会がどう向きあ
って行くことができるのか、ご講演いただきます。

15:55～16:10 (15分) 休憩

9 日程・内容

16:10
～
17:40
(90分)

講演② 『高齢ひきこもりの孤立を防ぐために』

愛知教育大学大学院教育実践研究科 准教授 川北 稔 氏

近年、高齢の親と未婚の子が同居する家族が孤立し、生活が立ち行かなくなる深刻な状況が注目されるようになっていきます。

内閣府の調査によれば、中高年(40～64歳)の引きこもりが推計で61万3千人いるとされ、15～39歳の引きこもりの推計54万1千人よりも多いことがわかっています。

高齢ひきこもりの孤立を防ぐための包括的支援に向けて、福祉関係者に求められる取り組み等について考えます。

第 2 日 目 11月26日(火)

9:00
～
10:00
(60分)

講演③ 『地域社会から社会的孤立を防ぐために』

同志社大学大学院教授 上野谷 加代子 氏

10:00
～
12:00
(120分)

実践報告

報告者 「当事者を真ん中に～生活困窮者を一人も漏らさない相談支援の
仕組みの構築と公民協働で進める地域づくり」

生活困窮社会における地域づくり研究会
(社会福祉法人京都府社会福祉協議会)

「ひきこもり支援の現状と課題

～ひきこもり支援センター「ワンタッチ」の取り組みから～」

社会福祉法人総社市社会福祉協議会

「高齢者、障害者に対する居住支援、見守り等の生活支援」

社会福祉法人天竜厚生会

進行・コメンテーター 同志社大学大学院教授 上野谷 加代子氏

第1日目に引き続き、地域社会から社会的孤立を防ぐために福祉関係者に求められる取り組み等について、さまざまな地域で行われている実践をもとに考えていきます。

10 申込み・参加費支払方法

(1) 別添「参加・宿泊申込書」に必要事項をご記入のうえ、FAX にてお申し込みください。

申込先：名鉄観光サービス(株) MICE センター FAX:03-3595-1119

また、申込取消または内容変更については、申込時の用紙を修正し、名鉄観光サービス(株) MICE センターへ再度 FAX にてご連絡ください。

(2) 参加申込受領のご連絡はいたしません。参加受付を締め切った場合等のみご連絡いたします。申込の照会をご希望の方は、名鉄観光サービス(株) MICE センターにご連絡ください。

(3) 参加券・宿泊券・振込用紙をセミナー開催日の1週間ほど前にお送りいたします。案内書の内容にもとづき銀行口座にお振込みください。

11 申込後の参加費の取扱い

参加費入金後の欠席連絡（参加キャンセル）については、参加費の返金はいたしません。資料の送付をもって代えさせていただきますので、あらかじめご承知おきください。

12 個人情報の取り扱いについて

本セミナーの申込者に関する個人情報は、本会「個人情報の保護に関する方針（プライバシーポリシー）」に基づき、下記により適切に取り扱うこととし、他の目的で使用することはありません。なお、本会プライバシーポリシーは、本会ホームページに掲載しております（<http://www.shakyo.or.jp/>）。

(1) 「参加申込書」に記載された個人情報は、本セミナーに係る企画、参加券等の送付、参加者名簿の作成・管理等、本セミナー関連のみの目的で使用させていただきます。

(2) 参加者相互の交流、情報交換を円滑に行うことを目的として、参加者名簿を作成し、当日、参加者に配布します。参加者名簿には、都道府県名、ご氏名、所属機関、所属機関の種別、役職を掲載します。

13 申込・問い合わせ先

【参加申込先及び宿泊に関するお問い合わせ】

名鉄観光サービス株式会社 MICE センター（担当：下枝・柴田）

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

T E L : 03-3595-1121 F A X : 03-3595-1119

【セミナーの内容等に関するお問い合わせ】

社会福祉法人 全国社会福祉協議会 政策企画部（担当：山本、今井（凛と））

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

T E L : 03-3581-7889 F A X : 03-3580-5721

E-mail z-seisaku@shakyo.or.jp